

会長安全パトローを実施しました。

1. 概要

工事安全と品質確保に埋浚協会を挙げて取り組むことを目的として、本部役員による安全パトロールを年2回実施することとし、今年度で4回目の会長安全パトロールを11月15日(金)に仙台塩釜港仙台港区分洋地区において、下記工事2件を対象に実施しました。

- ①仙台塩釜港仙台港区分洋地区岸壁(-14m)付帯施設築造工事 施工者：五洋建設(株)
- ②仙台塩釜港仙台港区分洋地区岸壁(-14m)築造工事 施工者：りんかい日産建設(株)

2. 出席者 《総勢：36人》

東北地整港湾空港部：神原事業計画官、鳥畑品質検査官、四家工事安全推進室長、谷川塩釜・港湾整備事務所長

日本埋浚協会：清水会長、武澤副会長、秋山副会長、河邊理事、竹原理事、本間理事、小西理事、山口理事、五百蔵理事、福田専務理事、植田総務副委員長、野口技術委員長、安全環境対策部会、広報部会、東北支部

◇パトロール実施状況



3. 安全パトロールの講評

各理事からは、「両工事とも現場内が、十分に整理整頓が行われていた。」「安全通路が適切に設置されていた。」、付帯施設工事においては、「家族からのメッセージの旗が安全に役立つのではないかと会社に持ち帰りたい。」「高所作業での安全対策が十分行われていた。」等、岸壁築造工事においては、「今後の鋼管杭撤去の施工計画においては、作業船への動揺を考慮して欲しい。」「作業が水際のため、万が一を想定した訓練を行ったらどうか。」等の意見があり、これから寒くなるため作業従事者の健康管理徹底の要望がありました。

会長から「働き方改革の実施」についての質問があり、付帯施設工事では18時の終業時間通知のアラーム実施等の説明がありました。また、岸壁築造工事での360度旋回する新型不整地運搬車を導入しており、運搬経路に回転場の必要がないこの機械導入の作業効率化状況について報告して欲しいとの要望がありました。

最後に、神原事業計画官からは、工事事務削減のため官民共働による安心・安全な工事現場の確立の要望がありました。